

NEWS RELEASE

フジフィルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズ 米国新拠点の大型設備によるバイオ医薬品製造のパートナーシップについて

2023年11月8日
FUJIFILM Diosynth Biotechnologies

富士フイルム株式会社（本社:東京都港区、代表取締役社長・CEO: 後藤 禎一）の子会社で、バイオ医薬品の開発・製造受託会社（CDMO^{※1}）であるフジフィルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズ（以下、FDB）は、ジョンソン・エンド・ジョンソン（以下、J&J）のヤンセン サプライ グループ（以下、ヤンセン）より、FDB 米国新拠点（ノースカロライナ州ホーリースプリングス市）の大型設備でのバイオ医薬品製造^{※2}を受託^{※3}することをお知らせいたします。

今回は、長期にわたるコミットメントで、これまで FDB とヤンセンが築いてきた良好な関係をさらに拡大するものです。今後、FDB は、長期にわたってヤンセンのパイプラインの治験薬製造・商業生産をサポートしていきます。尚、米国新拠点は、2025 年に本格稼働を予定しています。

富士フイルム株式会社 執行役員 バイオ CDMO 事業部長 兼 FDB 会長 飯田年久のコメント

今回のコミットメントは、我々だからこそ提供できるイノベーションと独自性を評価いただいたものです。富士フイルムはこれまで、バイオ CDMO 事業に対して約 70 億ドルに及ぶ戦略的投資を実施し、大幅な能力拡大を推進しています。進行中の大型設備増強と生産性のさらなる向上により、欧米における抗体医薬品の生産能力を現状比 5 倍以上とし、高い成長を続けるバイオ医薬品の需要に対応していきます。

FDB 社長・CEO ラース・ピーターセンのコメント

これまで築いてきたヤンセンとの協力関係を、米国新拠点の製造設備にも展開できることを嬉しく思います。今回の協業は、世界中の多くの患者様に医薬品をいち早くお届けするため、顧客から信頼されるパートナーとなり、PDMO（Partner Development and Manufacturing Organization）として、長期にわたって安定的に製造サービスを提供するという当社の揺るぎない信念が認められ結果したものです。

※1 Contract Development & Manufacturing Organization の略。生産プロセス開発や安定性試験、治験薬の開発・製造、市販薬の製造まで幅広いサービスを製薬企業などに提供する。

※2 大型培養タンクを有する 2 つの製造棟の内、1 つを使用して製造予定。

※3 詳細は公表していません。

(参考) FUJIFILM Diosynth Biotechnologies 概要

FUJIFILM Diosynth Biotechnologies (FDB) は、英国・米国・デンマークに拠点を有し、抗体医薬品や遺伝子組換えタンパク医薬品、遺伝子治療薬、細胞治療薬、ワクチンなどあらゆる種類のバイオ医薬品の開発・製造受託を行っています。30 年以上にわたる実績・経験を持ち、業界をリードする独自の高生産性技術「pAVEway™」「Apollo™X」を活用した細胞株開発からプロセス開発、治験薬製造、商業生産まで包括的な受託サービスを提供しています。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

【報道関係】

富士フイルムホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

TEL : 03-6271-2000

【その他】

富士フイルム株式会社 バイオ CDMO 事業部

TEL : 03-6271-3025